電気・電子・情報系専門分科会に新分科会発足

組込みシステム分科会の会員募集

実践教育訓練研究協会電気・電子・情報系の専門部会においては、会員同士の情報交換やスキルアップの一手段として分科会活動を積極的に推進しております。

近年、デジタル家電や携帯電話に代表されるようにモバイル機器やユビキタスコンピューティング 技術が急速な勢いで発展してきています。そこに使われている技術が、当部会の名称でもある「<mark>組込み技術</mark>」です。

昨今では、通信機器、自動車の代表さる運輸機器、FA機器、OA機器、医療機器、計測器等あらゆる製品や機器に組込み技術が利用されています。組込み技術なしには、製品の心臓部が成り立たないと言っても過言ではありません。しかしながら、この分野の技術者は大変不足していると言われており、数万人の技術者の育成が急務とされています。

当分科会は、このような時代のニーズに答えるべく人材の育成およびエンジニア養成に取り組んでいる職業能力開発施設の電気・電子・情報関連指導員がお互いの情報交換をするために発足しました。また、名称を「組込みシステム分科会」とし、多くの分野からの参加を期待しております。

組込みシステム分科会では、以下の項目を活動の柱としています。

- (1) 組込み技術にかかわる情報収集や情報
- (2) 組込み技術にかかわる各種講演会や発表会の開催
- (3) 教育訓練に使用する教材作成やテキスト作成
- (4) 能力開発に活用する教材開発
- (5) その他会員のニーズのある事業を積極的におこなう

【組込みシステム分科会役員体制】

主 查 千秋 広幸(実践研理事:山形県立産業技術短期大学校)

幹事玉井瑞又(京都職業能力開発短期大学校)

仲谷 茂樹 (東北職業能力開発大学校)

山中 光定(中部職業能力開発促進センター)

事務局長 大久保 欣哉 (中国職業能力開発大学校)

技術アドバイザー 石川 知之 (株式会社ソフィアシステムズ)

技術アドバイザー 満上 浩司(有限会社 MIZOUE PROJECT JAPAN)

是非この機会に、本分科会に入会されますよう、ご案内いたします。 (申し込みは別紙入会申込書で)

(社) 実践教育訓練研究協会 電気·電子·情報系専門部会

組込みシステム分科会入会申込書

		申込日	年	月	日
ふりがな		生年月	日		
氏 名			年	月	日
勤務先名					
部科名まで	部科名				
勤務先	〒 –				
(または自宅)					
所在地					
	TEL () –	FAX ()	_	
	e-mail				
備考					
(活動事業に対する					
要望等お書きくだ					
さい)					

- ■申し込み方法
- ●入会申込書に必要事項を記入の上、分科会事務局宛に e-mail あるいはファックスにて送付してください。

募集案内及びファックス用紙の PDF ファイルをダウンロードして下さい。 embedded-moushikomi.pdf(KB)

●分科会の会費は不要です。

組込みシステム分科会事務局 〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾 1242-1 中国職業能力開発大学校 生産電子システム技術科

> 大久保 欣哉 (e-mail : <u>okubo@ap.chugoku-pc.ac.jp</u>) Tel : 086-526-0321 (代表) Fax : 086-526-6395

平成 19 年 6 月 16 日 (土) 13:30~17:30 アビリティガーデン:3F 302A セミナールーム

【議題】

1. 実践教育訓練研究協会 電気・電子・情報系専門部会 組込み技術分科会(仮称) 発足式

● 挨 拶

千秋 広幸 実践研理事 (電気・電子・情報系専門部会副部会長)

- ・電気・電子・情報分野はますます難しい時代に入ってきている。より一層の技術革新に向けて努力して行く必要が求められる。
- ・組込み系エンジニアの技術者育成や技術向上に向けて、この分科会が発足したことには、大きな意義がある。
- ・今回の実践報告に向けて、ご準備頂いた方々には、お忙しい中、大変感謝申し上げる。
- ・今後、当分科会のますますの発展と活躍を期待し、より有意義な取組みが行なって行けるよう尽力して行きたい。

企業側の参加者一覧

氏 名	施設名	所属(Eメール)
溝上 浩司	(有)MIZOUE PROJECT JAPAN	取締役社長
末棟 達弥	IJ.	営業部 主任
石川 知之	(株)ソフィアシステムズ	営業本部 営業3部

参加者一覧表	(施設の北から順)
	しかにロメ マフィロ・カ キャン川豆 ノ

氏 名	施設名	Eメール
千秋 広幸	山形県立産業技術短期大学校	senshu@astro.yamagata-cit.ac.jp
小玉 博史	東北職業能力開発大学校	kodama@tohoku-pc.ac.jp
永野 秀浩	関東職業能力開発大学校	h nagano@oyama-pc.ac.jp
小林 克行	長野県工科短期大学校	koba@cs.pit-nagano.ac.jp
中谷 努	職業能力開発総合大学校	nakaya@uitec.ac.jp
玉井 瑞又	京都職業能力開発短期大学校	tamai@cs.kyoto-pc.ac.jp
大久保 欣哉	中国職業能力開発大学校	okubo@ap.chugoku-pc.ac.jp
平島 隆洋	中国職業能力開発大学校	hirasima@ap.chugoku-pc.ac.jp

2. 実践報告

- (1) 平島 隆洋 先生(中国職業能力開発大学校)による組込み機器の共同研究について 「産学連携による高度組込み機器の開発」
 - 1. 組込み教育の現状と問題点
 - 2. 市場適用・産業適用としての組込み
 - 3. 製品化された組込み機器の事例 小型汎用高速高精度ディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE の基本動作原理 50Ω系高速高精度ディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE 2 の産学連携開発 新型 DEBUGSCOPE の構想
 - 4. 大成功へ向けての教育展開・産学連携

- (2) 溝上 浩司 様 ((有)MIZOUE PROJECT JAPAN) による組込み系製品の商品開発について
 - 1. 小型汎用高速高精度ディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE の実機デモ
 - 2. 50Ω系高速高精度ディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE 2 の実機デモ
 - 3. 小型カラー液晶搭載モバイルディジタルオシロスコープ DEBUGSCOPE 3 の実機デモ

3. 組込み技術分科会(仮称)の組織体制について

- (1) 分科会の名称について
 - ・最近の技術動向から、名称については、組込み分科会とする。
 - ・「組込み」または「組み込み」と記述するかは、JIS の規格に従う。
 - → **JIS X 0015 JIS** 用語集には、「組込み」で統一されている。

IPA (独立行政法人 情報処理推進機構)の ETSS では「組込み」という名称を使用している。

(2) 組織体制について

組織体制 (案)

役職名	氏 名	施設名	備考
主 査			
幹事(ブロック統括担当)	玉井 瑞又	京都職業能力開発短期大学校	関東・中部
幹事(東ブロック担当)	仲谷 茂樹	東北職業能力開発大学校	東地区
幹事(西ブロック担当)			西地区
事務局長	大久保 欣哉	中国職業能力開発大学校	
技術アドバイザー	石川 知之	(株)ソフィアシステムズ	企業アドバイザー
技術アドバイザー	溝上 浩司	(有)MIZOUE PROJECT JAPAN	IJ

4. 今後の計画について

- ・実践教育訓練研究協会ホームページに発足式ならびに実践報告等の内容を掲載する。
- ・当分科会の会員募集ページを掲載する。
- ・当分科会のメーリングリストを立ち上げる。
- ・ 今年10月以降に分科会会議を開き、具体的な計画を立案する。

5. 実践教育研究協会 2008 東京大会への取組みについて

- ・東京大会では、当分科会の活動目的、概要などを会員に紹介する発表を1件行なう。 (担当:玉井(京都能開短大)、大久保(中国能開大))
- ・実装技術研究分科会のセッションに合わせて、当分科会のセッションを設ける。
- ・今回の実践報告を東京大会でも行なう。

「産学連携による高度組込み機器の開発」・・・ 平島(中国能開大)

「組込み系製品の商品開発について」 ・・・ 溝上((有)MIZOUE PROJECT JAPAN)

- ・大久保による組込み技術に関する発表を1件行なう。
- ・現在エントリーされている発表の中から同技術要素を用いたテーマについては、当分科会のセッションの中で発表してもらう。

6. その他

- ・主査、西ブロック担当幹事の人選については、分科会事務局で適任者を推薦する。
- ・定期的に報告会や研修会を行なえるよう企画して行きたい。